

宝塚社保協第9回定期総会

「社会保障を守り、拡充する声をあげよう」



社会保障をよくする宝塚の会(宝塚社保協)は9月10日、宝塚市立西公民館で第9回定期総会を開催。市民ら59人が参加した。

記念講演では奈良女子大学教授の中山徹先生が「憲法改正により切り崩される社会保障」と題し講演。社会保障制度改革国民会議報告書の内容に触れ、「報告書では『自助・共助・公助の最適な組み合わせ』とされているが、実際は社会保障を、自助を基本とし、次いで共助による助け合い、最後に公助で行うことで公費を減らすことが最大の目的」と指摘。

また、社会保障充実のためには、「大手企業の内部留保、高額所得者にとどまる、もしくは投機に使われているお金を、労働者の賃金、社会保障の財源として活用するべき」と訴えた。

総会では中井通治支部長、脇野耕一副支部長が副会長に再選された。

あいさつにたった中井先生は「社会保障を優先する政治を実現するために、今回の総会決議を皆さんが活動するそれぞれの持ち場で具体化していきましょう。特に患者窓口負担の引き上げや、介護保険の要支援はずし、生活保護法改悪に断固として反対しましょう。」と訴えた。



社会保障制度改善を求める活動を決議

講師の中山徹奈良大学教授(上)
あいさつする中井支部長(下)



第315回幹事会だより

10月3日(木)伊丹市立産業・情報センター 参加:7人

◆北阪神支部の会員数と組織率

9/30現在 医科324人(71%)、歯科168人(52%)

◆医療をめぐる情勢と運動対策

社会保障制度改革国民会議報告書、来春に予定されている消費税増税について議論した。

◆当面の支部活動

2014年3月27日 伊丹シティホテル・光琳の間にて2014年度診療報酬改定研究会を開催予定。

◆次回の幹事会

11月7日(木)14時30分~伊丹市立産業・情報センター4F研修室B
会員の先生方はどなたでもご参加いただけます。

お問い合わせはTEL 078-393-1805 小川・小西・横山まで

兵庫県保険医協会

北阪神支部 ニュース

2013年10月25日号 No.230

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階

☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802

http://www.hhk.jp/

第28回支部総会

北阪神支部は10月6日、伊丹シティホテルで第28回総会を開催。12年度活動報告と13年度方針を採択し、新役員を選出した(2面に新役員)。記念講演ではみらいクリニック(福岡市)院長の今井一彰先生が「口を閉じれば病気にならない~あいうべ体操で若がえる~」と題して講演し、会員やスタッフ、市民ら143人が参加した。以下、感想文を紹介する。

【感想文】 「上流医療」の大切さ



講師の今井一彰先生

病人が増えれば医師を増やすというだけの発想では、医療崩壊を招き保険料の負担増に繋がる。医療費増加の半分は薬剤費で、医師の技術料に繋がらない。病人を減らすことで、「みんなが楽な医療」になるのだと「みらい」について説明された。

そのためには「上流医療」が大切だと、山を綺麗にし、川を、海を綺麗にすることで美味しい牡蠣を育てた気仙沼の例を引いて、鼻から正しく呼吸することで体を正常で綺麗にする息育の必要性を強調。そのための「あいうべ体操」で学級閉鎖を出さなかった福岡県の小学校の新聞記事を紹介された。

「クスリを使わない医者」を自負する今井先生は「あいうべ体操」、ソンバーユ点鼻、口テープ、「ひろのば体操」みらいソックスなどのアイテムを紹介され、尋常性乾癬、アトピー性皮膚炎、色素性紫斑、抑うつ状態、潰瘍性大腸炎、関節リウマチ、花粉症、喘息、外反母趾、O脚、前屈、歩行障害、膝関節痛などが改善した症例が写真で示された。



「日常生活で実践していきたい」という感想が多く寄せられた

全例がほとんど薬を使わなかったり、減薬しながらであることは注目に値する。

その後、あいうべ体操の実演で講演を終え質疑に入った。150人近くの聴衆だったため、会員からも、一般参加者からも質問が相次ぎ、予定時間をオーバーした。中には「ひろのば体操」で大学病院でも治らなかった腰痛が改善した報告もあった。

(伊丹市・かわむら歯科 川村 雅之)

(2面につづく)

(1面のつづき)

【アンケートより】

- ・昔から口の中のことは大切だと感じていました。特に介護の仕事をしていて、寝たきりの人や歯磨きができない方の口の中のケアが気になっていました。鼻呼吸をするだけで色々な病気が改善するなんて考えられませんでした。今回の講演を聞いて良かったと思います(ヘルパー)
- ・今まで色々な講演に参加してきましたが、今回は自分自身と家族にも役立つ講演でした。早速今日から実践したいと思います(看護師)



総会議事では活動方針について討論

○祝電・メッセージ(順不同・敬称略)

池内春樹(兵庫県保険医協会理事長)、茅野涼一(宝塚医療生活協同組合理事長)、竹中秀夫(伊丹市医師会長)、末岡悟(宝塚市医師会長)、竹本博行(川西市医師会長)、藤原保幸(伊丹市長)、中川智子(宝塚市長)、大塩民生(川西市長)、福田長治(猪名川町長)、ねりき恵子(県会議員)

○総会・懇親会ご来賓(順不同・敬称略)

ねりき恵子(県会議員)、上原ひでき(伊丹市会議員)、となき正勝(宝塚市会議員)

兵庫県保険医協会北阪神支部役員体制

(2013年10月現在・地区別・五十音順・敬称略)

本年度もよろしくお祈いします！！

■支部役員 (2013年10月～2015年9月)

<支部長> 1人 中井 通治(宝塚市)

<副支部長> 4人 川村 雅之(伊丹市) 西山 茂樹(伊丹市)
林 宗茂(伊丹市) 脇野 耕一(宝塚市)

<幹事> 14人 上り口寛武(伊丹市) 太田 威彦(伊丹市)
大森 英夫(伊丹市) 工藤大八郎(伊丹市)
小泉 勇(伊丹市) 城田 勲(伊丹市)
鈴木 雅俊(伊丹市) 竹内 重人(伊丹市)
谷口 紀善(伊丹市) 安井 武義(伊丹市)
金川 清人(宝塚市) 高 俊永(宝塚市)
澤村 新(宝塚市) 田中 健一(宝塚市)

第9回在宅医療研究会「認知症の周辺知識」

認知症患者に対する幅広い知識を

北阪神支部は9月28日、第9回在宅医療研究会を伊丹シティホテルで開催。「認知症の周辺知識～最近の話題や睡眠機構、摂食嚥下など～」と題し、つちやま内科クリニック(西宮市)の土山雅人先生が講演。医師、歯科医師、看護師ら74人が参加した。

講師の土山先生は「認知症患者さんに接するには幅広い知識が役立ちます。その人の脳の中でどのような認知症特有の変化が起こっているか、いろいろな角度から考えてみるきっかけとなれば幸いです。」とし、アルツハイマー型認知症に関する最近の話題を紹介するとともに、日常の問題になることの多い「睡眠」や「摂食嚥下」に関してその機序を含めて解説。

参加者からは「認知症、睡眠、摂食障害はとても関連が深い病気であることがわかった。患者の状態をよく見て、対応すること

の重要性を勉強できた。」「病態の機序から臨床的所見、客観的観察項目など、最近の話題にふれながら説明していた



医師・歯科医師をはじめ、看護師や介護士など在宅医療に携わる方々が多数参加

だき、集中して聴講することができた。病状がわかってからではなく、色々な予測ができる前駆症状を知っておけば早い段階で症状進行も遅らせることができるのではと考えながら勉強した。食べられなくなった、夜眠れない等の症状で困っている家族・介護者の方へ指導できるアプローチがわかり、とても役立つ内容だった。」といった声が聞かれた。



講師の土山先生(上)
座長の林副支部長(下)

参加者の感想

- ・認知症、睡眠、摂食障害はとても関連がある病気であるということがわかりました。患者さんの状態をよく見て、対応することの重要性がよくわかりました(薬剤師)
- ・睡眠や嚥下について詳しく機序からの説明があったのでとても分かりやすかったです(看護師)
- ・具体的に例を上げてお話いただけたので他のスタッフへの指導の参考になりました(看護師)
- ・認知症に至る原因と治療薬について理解ができました。今後早期診断が可能となり、早期の治療方法が見つかる事を希望しております。認知症の場合、薬の処方も必要ですが、介護の仕方・環境の必要性もあらためて再認識しました(ケアマネージャー)
- ・今後、家庭での介護が増えることが当たり前となり、家族としてどうなるんだろう、という不安が日本中にあると思います(看護師)